

都市再生整備計画(第1回変更)

おおはしいっちょうめしゅうへんちく
大橋一丁目周辺地区

とうきょうと めぐろく
東京都 目黒区

平成20年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	目黒区(めぐろく)	地区名	大橋一丁目周辺地区(おおはしいっちょうめしゅうへんちく)	面積	20 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標	
大目標:	快適に暮らし、魅力を感じる、まち・みち・再開発が一体となった活気ある街づくり
目標1	商業の充実とともに公共公益施設や快適な歩行空間などの整備によって住むことの豊かさが実感できる街づくり
目標2	人のふれあいと交流を生む空間や新たな人の流れをつくり出す横断施設などの整備による賑わいと活力に溢れた街づくり
目標3	周辺環境との調和や地域環境課題に対応し、環境に配慮した街づくり

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<p>○大橋一丁目周辺地区は、東京を代表する副都心のひとつである渋谷から直線距離で1.5kmという交通至便な場所に位置しており、公共交通機関を利用して都内主要エリアへ簡単にアクセスできる。また、首都高速の出入口にも近く、周辺の主要幹線道路(国道246号・首都高速道路3号・都道環状6号)も整備されており、自動車によるアクセスも非常に良好である。</p> <p>○当地区では、都市高速道路中央環状新宿線大橋ジャンクション(仮称)が平成21年度に開通する予定であり、建設予定地を中心とした約3.8haはジャンクションの建設と一体となった市街地再開発事業が東京都により施行され、平成16年度に事業計画決定し平成23年度完成予定となっている。</p> <p>○目黒区は大橋一丁目周辺地区整備構想(平成15年11月)を基に、大橋一丁目周辺地区整備方針(平成17年12月)を策定し、具体的な整備の方向性を示している。</p> <p>○地域住民による街づくりへの活動も積極的に展開されており、検討組織は各事業段階において「大橋一丁目街づくり研究会(平成7年7月設立)」、「大橋一丁目地区再開発準備会(平成12年1月設立)」、「大橋一丁目地区再開発協議会(平成14年4月設立)」と姿を変え、今日まで継続されている。</p>	
課題	
<p>○既存商店街の活性化が望まれている。新たに再開発事業で整備される公共公益施設や商業施設、ジャンクションループを活用した一体的な街づくりを検討する必要がある。</p> <p>○大橋一丁目周辺地区は国道246号により南北が分断されており、既存の横断施設に対する不満の声も多く、国道246号沿いは放置自転車等により歩行者が快適に歩行できる環境ではなく、バリアフリーに対応していないことから、地域分断要素の改善とバリアフリー化が課題となっている。</p> <p>○当地区は国道246号、首都高速道路3号、都道環状6号といった幹線道路に囲まれ、地形が窪地になっていることから、道路通行車両による大気汚染や騒音等の環境対策が課題となっている。</p>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>○当地区の上位計画での位置づけは、目黒区基本構想(平成12年10月)において大橋ジャンクション予定地周辺を「広域商業・業務地」に位置づけている。目黒区都市計画マスタープラン(平成16年3月)においても、中目黒・自由が丘・目黒駅付近と並び、「広域生活拠点」と位置づけており、ジャンクション整備にあわせて、「住み続けられる街づくり」、「周辺との連続性が確保された街づくり」、「環境に配慮した街づくり」を目標とした市街地再開発事業を促進し、関係機関などと連携しながら街づくりを進めるものとし、オープンスペースを備え、機能が複合的に集積する広域生活拠点の形成を目指している。</p>	

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
池尻大橋駅の乗降客数	人/日	池尻大橋駅における一日あたり乗降客数の年間平均値	街づくりの推進により達成される住むことの豊かさや街の賑わいを居住者および来街者による駅乗降客数の増加数により表す。	50,759	H17	53,297	H23
歩行者デッキの利用者数	人/日	歩行者デッキの一日あたり利用者数	デッキの整備による歩行空間の快適性と歩行者ネットワークにより生み出される賑わいをデッキ利用者の増加数により表す。	1,954	H17	3,500	H23
街の管理運営への住民参加	人	街づくりに参画する住民数	街に対する意識の高まりによる環境への配慮や地域コミュニティ形成による住むことの豊かさの向上を街の管理運営に参画する住民数により表す。	30	H18	50	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(安全で快適な生活利便施設や歩行空間の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発ビルでの公共公益施設の集約配置や商業の活性化により生活関連施設の充実を図る。 バリアフリー化等により、安全で快適な歩行者空間を創出する。 駅周辺での乗り入れ自転車等に対応するため、駐輪場を整備するとともに住民との連携による放置自転車対策を推進する。 地域防災拠点の整備と地域住民による防災活動 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館・集会室の整備【提案事業：地域創造支援事業】 国道246号沿道歩行空間計画調査検討【提案事業：事業活用調査】 案内板の整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 国道246号歩行者横断デッキ整備【基幹事業：高次都市施設】 国道246号沿道歩行空間計画調査検討【提案事業：事業活用調査】 (仮称)大橋一丁目、二丁目駐輪場の整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 防災無線中継局関連施設の整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 (仮称)大橋一丁目公園整備【基幹事業：公園】 (仮称)大橋一丁目広場整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 大橋地区公園計画調査検討【提案事業：事業活用調査】
<p>整備方針2(ふれあい・交流・賑わいの場の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャンクションループを活用し、地域住民の交流の場を創出する。 大橋地区の貴重な景観資源である目黒川を活用し、地域住民の憩いの場を創出する。 歩行者横断デッキを整備し、国道246号による地域分断要素の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)大橋一丁目公園整備【基幹事業：公園】 (仮称)大橋一丁目広場整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 大橋地区公園計画調査検討【提案事業：事業活用調査】 (仮称)大橋二丁目緑道の整備【基幹事業：高質空間形成施設】 万代橋改良計画調査検討【提案事業：事業活用調査】 国道246号歩行者横断デッキ整備【基幹事業：高次都市施設】 国道246号沿道歩行空間計画調査検討【提案事業：事業活用調査】
<p>整備方針3(周辺環境との調和や地域環境課題に配慮した整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した目黒川や公園・緑地の整備と地域住民による住民参加型管理運営方法の構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)大橋二丁目緑道の整備【基幹事業：高質空間形成施設】 (仮称)大橋一丁目公園整備【基幹事業：公園】 (仮称)大橋一丁目広場整備【基幹事業：地域生活基盤施設】 大橋地区公園計画調査検討【提案事業：事業活用調査】
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市街地再開発事業 ・当該地区内で、東京都施行による第二種市街地再開発事業が実施されている。都市計画決定(平成16年1月)、事業計画決定(平成17年3月)、事業計画変更(平成17年11月)、第一工区の管理処分計画決定(平成18年2月) ○道路事業 ・首都高速道路(株)による都市高速道路中央環状新宿線の道路事業が実施されており、当該地区内の中心には大橋ジャンクション(仮称)が建設される。都市計画決定(平成2年8月)、大橋ジャンクション線形変更の都市計画変更(平成11年4月) ○街並み景観重点地区 ・東京都の「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」に基づき、当該地区のうち約11.3haを街並み景観重点地区に指定(平成18年2月8日付) ○福祉の街づくり推進地区 ・東京都福祉の街づくり条例をふまえて、バリアフリーネットワーク形成を図る地区として位置づけ(平成16年3月) 	

都市再生整備計画の区域

大橋一丁目周辺地区(東京都目黒区)	面積	20 ha	区域	大橋一丁目の全部と大橋二丁目、東山二丁目、東山三丁目の一部
-------------------	----	-------	----	-------------------------------

